

# 朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1067名

令和7年2月1日号



## 社会総がかりの教育で未来を拓こう

校長 田邊 雅也

### 園児のみなさん、入学は楽しみでしょ？

1年生は生活科で、「もうすぐ2ねんせい」という学びをしています。新入生（年長さん）の今の気持ちは、入学する楽しみや不安もあるに違いない、という1年生子供たちの経験からくる「問い」に対する問題解決です。1月末に、入学してからの1年間を振り返って、来校した園児の皆さんに、学校の様子を伝えることになりました。園児の皆さんに、少しでも安心してほしい、と準備をしている1年生の話し合いも真剣だったと同時に、「2年生になるんだ。」という進級への意欲も感じました。実際に、園児の皆さんをお迎えすることで、オーセンティック（本物）な学びとなりました。どの子も「お兄さん、お姉さんらしく、園児のみなさんに喜んでほしい」という、切なる思いが伝わってきました。1年生の、相手を思いやる学びとなりました。

### 地域の皆さん、朝霞産人参は美味しいでしょ？

5年生の総合的な学習の時間では、旬を迎えた朝霞の人参をさらに広めていくためのプロジェクトに取り組んでいます。12月に朝霞の人参を実際に掘り、冬休みに調理した感想をみんなで共有することで、朝霞の人参の甘さや美味しさを再認識しました。実は2学期、地域に出て、QRコードによるアンケートフォームで、朝霞産の人参の認知度について意識調査をしてきましたが、子供たちが期待していた結果ではありませんでした。甘くて美味しい朝霞産人参の魅力を、もう一度、地域に伝えていくプロジェクトとなりました。12月から導入されているロイロノートというアプリで、オンライン上での協働的な学びにも取り組んでいます。教育DX（※）にも前向きで、未来を感じる学びです。

### 園児、学生、高齢者の皆さん、黒目川は素敵でしょ？

4年生は、これまで探究してきた黒目川についての発表の場として、近隣の保育園、大学、高齢者施設などで、「出張川まつり」を行いました。訪問する場所の立地は、どこも黒目川のそばです。多くの園児、学生、高齢者の皆さんに、試行錯誤を繰り返してきた「川まつり」という方法で、黒目川の魅力や、川の環境を支える方への思いも同時に届けています。施設で働く職員の方や学生は、朝霞在住ではない方もいて、首都圏に位置する黒目川の魅了されたようです。朝霞市の自慢である黒目川の自然を、もっと豊かにしていこう、というウェルビーイングあふれる活動です。朝霞市のSDGsを意識した学びです。

### 未来を拓く教育は、学校はさらに楽しく

今年度、埼玉県教育委員会が発表した「第4期教育振興基本計画（R6～R10）」では、「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」という基本理念の下、「誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進」と「教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」の二つが新たに取り入れられました。市町村、学校、家庭、地域、大学、企業、NPOなど、教育に関わる全ての皆様の教育力を結集した教育を推進していく計画です。子供たちには、生きがいを持って幸せな人生を歩んでいけるよう、自分の夢の実現に向けて、主体的に行動できる力や多様な人々と協働する力、そして自ら未来を切り拓くことのできる力を身につけてほしい、という思いのある計画です。朝霞市の教育振興基本計画は、国や埼玉県の教育振興基本計画を受け、現在、議論されています。具現化されていけば、学校という場所は、さらに楽しくなっていくと思います。

### 社会総がかりの教育で、未来を拓こう

六小は、大人（保護者、地域、教職員）の目指す学校像として、「社会総がかりでウェルビーイングのある教育」について、繰り返しお伝えしてきました。保護者の学校評価（速報値）では、88%の保護者の方が、肯定的に捉えてくださっています。こうした六小の教育改革には、文部科学省教科調査官、大学教授などの専門家から、学術的・実践的なご指導をいただいています。さらに、学校運営協議会委員の皆様のアイデアと行動力、そして、保護者・地域の支援をいただいています。六小は、教育基本振興計画の実現に向け、すでに動いていると感じています。今回は、3つ学年の授業実践について紹介しましたが、どの学年も、「社会総がかりの教育」として、子供たちを支援して下さる保護者、地域の皆様のご協力のおかげで、「未来を拓く学び」となっています。心より感謝申し上げます。

※教育DX（教育デジタルトランスフォーメーション）

従来の教育の現場にデジタル技術を取り入れ、学習体験や教育そのものを革新させ、より個別最適で協働的な学びを実現する取組。六小では、iPadのアプリを中心に、現在は、すららドリル（3年以上）、ロイロノート、MottoSokka!などを重点的に活用し、授業改善の試行錯誤をしています。